

## 防災対策

# 台風到来シーズン

## 台風情報の入手と事前の対策

台風の年平均発生個数は26.7

個で、そのうち2.6個が日本に到来しているといわれています。今年は、すでに(8月18日現在)12個の台風が発生しております。

台風は、地震の突発的な発生と違い、規模や進路などがある程度予測できます。これからの台風到来シーズンを控え、取り返しのつかない「生命、身体」、「財産」の被害を最小限にするためにも、最新の「台風情報の入手」と、それに伴う「事前の対策」が大切です。

### 【台風情報の収集】

台風が近づいたら、継続的にテレビ、ラジオなどで台風情報の収集に努めてください。NTT電話の177番、気象庁のホームページ、携帯電話等からも

最新情報が入手できます。



### 【情報の活用】

- ① 台風進路が小松島市の西側を北上する場合、一般的に東側を北上する場合よりも風雨が強くなります。特に、満潮時刻と重なった場合は、高波や高潮が発生する恐れがありますので、台風の進路や強さ、通過時刻などについて注意が必要です。
- ② 大雨警報や洪水警報が発表されたら避難準備を(体の不自由な

方は避難を開始)してください。特に、夜に台風の通過が予想される場合は、明るいうちに避難をしておくことが大切です。



### 【暴風対策】

台風が来る前に暴風対策を済ませてください。台風の通過中は屋外に出るのは非常に危険です。絶対にやめましょう。また、風が弱まったからといってすぐ屋根修理などに取りかかるのは危険です。「吹き返し」の強風が予

想されます。

- ① 窓ガラスなどが、飛来物で割れるのを防ぐためには、外側から添え板等を施すと効果的です。また、内側からガムテープを×印に貼ると割れた場合の飛散防止に役立ちます。

- ② 雨戸、壁板、トタン屋根、シャッター等の老朽部はそえ木にロップなどで固定しましょう。
- ③ テレビアンテナや立ち木等の倒れる危険性があるものは、針金やロープなどでしっかりと固定しましょう。
- ④ 看板や屋上・ベランダなどにある放置物等は飛散する可能性があります。家の中に取り込むなどの処置をしましょう。

(平成16年の台風では、隣近所の飛散物で被害を受けた家屋が散見されました。隣近所の迷惑にならないよう、

台風の進路と風向きの変化



- 台風が来る前に飛散物の片付け等、十分な気配り処置をしておきましょう。
- ⑤ 暴風は停電をもたらすことがあります。懐中電灯、携帯ラジオ等の他、水、調理品に代わる飲料水・非常食等の買いだめをしておきましょう。

### 【大雨・洪水対策】



- ① 過去の台風等で浸水された地区は、雨量によっては再度浸水の可能性があります。大雨情報の事前収集に努め、早めに家財道具や食料品等を高い所へ移動させましょう。また、浸水を防止するため、事前に土のう積みをしておきましょう。

(土のう袋は、ホームセンター、建材店等で販売しております。)

- ② 車は早めに高台等に避難させておきましょう。
- ③ 河川の上流部の方、農家の方